

施工要領 化粧部材(モール材)

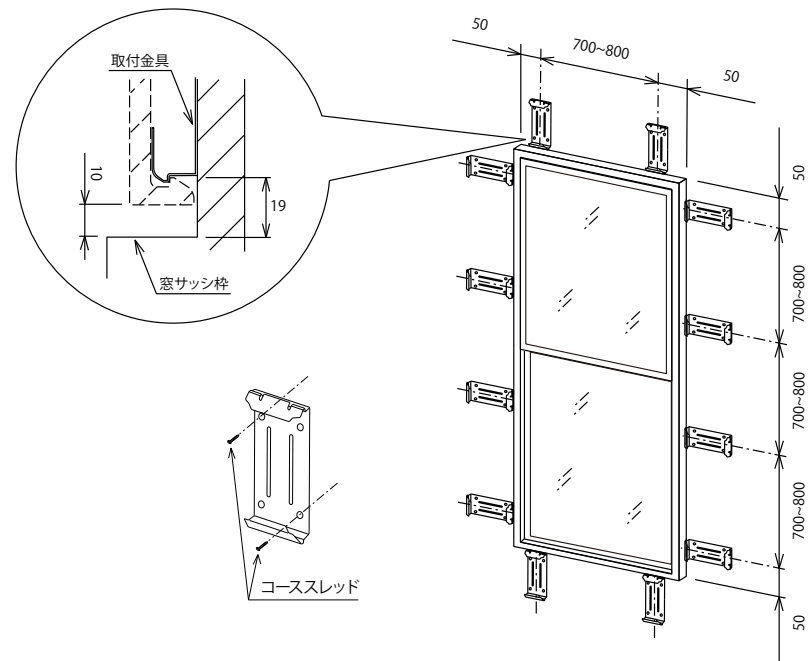
化粧部材(モール材) 窓廻り 施工要領

手順 1

取付金物の取付け

・窓サッシ外枠から19mm離れた位置へ金物を割付け、コーススレッド(φ4、2×51L)にて2カ所留め付けてください。(コーススレッドは現地調達)

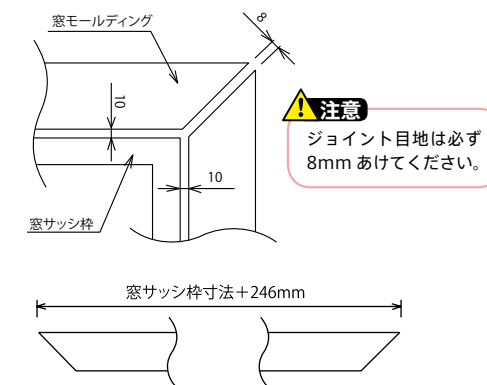
注意
金物の取付けについては、必ず1カ所は下地木脚縁、あるいは下地柱材にビスを効かせてください。



手順 2

窓モールの施工

・取付金物に成分型の変成シリコン系の接着剤を塗布し、製品を取り付け固定してください。(変成シリコン系の接着剤は現地調達)
・カット長さは窓サッシ枠寸法に対し、246mm長くカットしてください。窓モールのジョイント部は、8mmの目地を取ります。



注意
ジョイント目地は必ず8mmあけてください。

注意
製品の施工は、手で押し込むか軽く叩いて金物にはめてください。

注意
接着剤の塗布は、施工後の横ズレとはずれ不具合防止のためです。必ず実施してください。

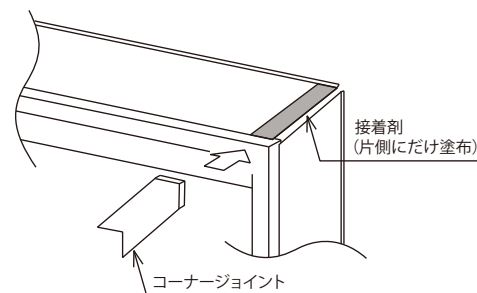
手順 3

ジョイントカバーの施工

・ジョイントカバーの取付は、窓モール本体の片側端部に変成シリコン系接着剤を塗布し取り付けてください。(変成シリコン系の接着剤は現地調達)

注意
接着剤は両側のモール材にまたがせて塗布しないでください。

注意
「PL法に基づく使用上の警告注意表示」本施工要領通り施工されていないと、はずれ、脱落等の原因となる可能性があります。



手順 4

金物への嵌合確認

注意
施工後ははずれ防止のため、製品が全ての金物にしっかりと嵌合しているかを確認してください。

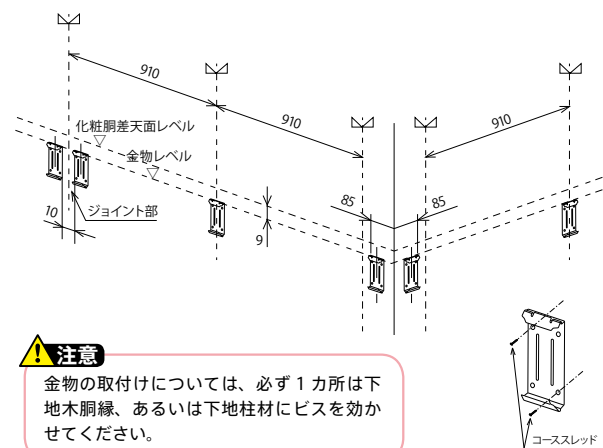
※縦勝ち・横勝ち収まり時は小口にエンドキャップを変形シリコン系接着剤で取り付けてください。

化粧部材(モール材) 化粧胴差 施工要領

手順 1

取付金物の取付け

・化粧胴差の天端から9mm下げた位置へ金物の上端を割付け、910mm以下のピッチでコーススレッド(φ4、2×51L)にて2カ所留め付けてください。
・モールの平ジョイントのそれぞれ端部には取付金物を設置してください。その金物同士は10mm離して設置してください。



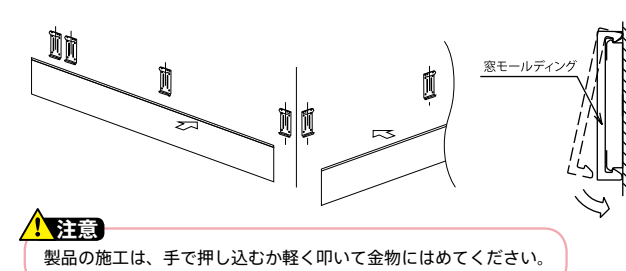
注意
金物の取付けについては、必ず1カ所は下地木脚縁、あるいは下地柱材にビスを効かせてください。

手順 2

モールの取り付け

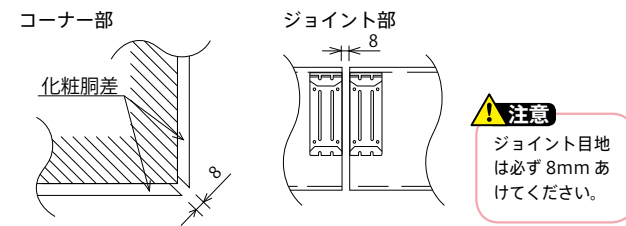
・取付金物に1成分型の変成シリコン系の接着剤を塗布し、コーナー部から製品を取り付けます。

注意
接着剤の塗布は、施工後の横ズレとはずれ不具合防止のため必ず実施してください。



注意
製品の施工は、手で押し込むか軽く叩いて金物にはめてください。

・コーナー部は出隅カバーを取り付けるため、モール材の小口を図のように45°カットし、8mmの目地を取り設置してください。
・平ジョイント部も8mm目地を取りモール材を設置してください。



注意
ジョイント目地は必ず8mmあけてください。

手順 3

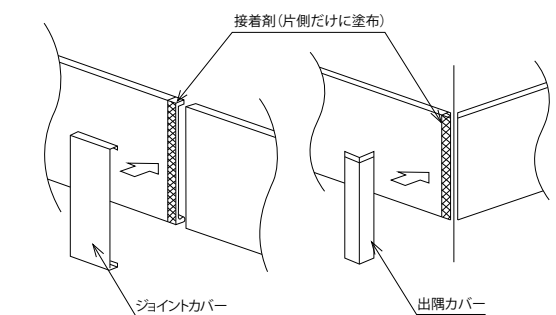
金物への嵌合確認

注意
施工後ははずれ防止の為、全ての製品が金物にしっかりと嵌合しているか確認してください。

手順 4

ジョイントカバー、出隅カバーの施工

・出隅コーナー部には出隅カバーを、平ジョイント部にはジョイントカバーをモール材の片側のみ端部に1成分型の変成シリコン系接着剤を塗布し取り付けてください。

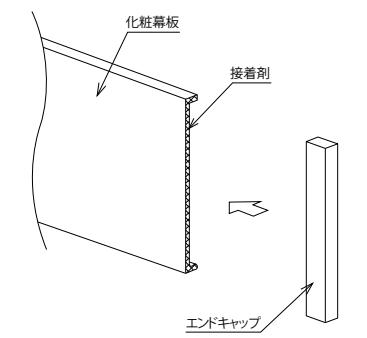


注意
接着剤は両側のモール材にまたがせて塗布しないでください。

手順 5

エンドキャップの施工

・モール材の端部には小口に1成分型の変成シリコン系接着剤を塗布しエンドキャップを差し込むように取り付けてください。

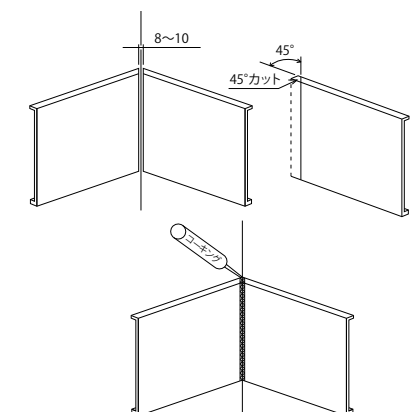


手順 6

入隅部の施工

・入隅コーナー部はモール材小口を45°カットし、目地を8~10mm確保し取り付けください。
・入隅部の目地をコーキング処理してください。

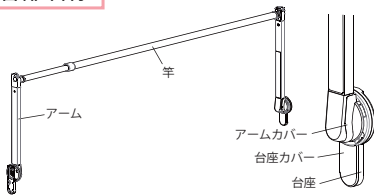
注意
入隅以外のジョイント部はコーキング処理しないでください。



施工要領 室内物干し

室内物干し 各部名称／部品明細／取付場所の確認

各部名称



取付場所の確認

■施工条件

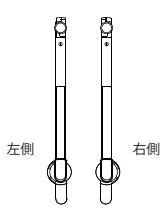
- ・適応するサッシの高さは1,900～2,100mm、うちのり幅は2,000～2,560mmです。
- ・アーム取付場所はサッシ額縁の見込み部分(35mm以上)で、十分な強度がある箇所。見込み部分の推奨は50mm以上で、台座がアングルに被らないように取付けてください。また、クロス巻込みで額縁のない場合は、クロスの下に9mm以上の木の床下が必要となります。
- ・なお、台座がアングルに被る場合は以下の(注1)～(注3)項の確認が必要となります。

- (注1) サッシの中央部の縦枠が大きく、アングル(サッシ枠)より前に出ているものは、竿に接触する恐れがあります。
 (注2) 台座をアングルに被せて取付けた場合、右側のサッシを左に寄せた時に、左側アームの下側が、サッシと接触する場合があります。その場合、アングル(サッシ枠)から台座を15mm以上離して施工してください。
 (注3) 額縁の手前に取付ける場合には、取付ねじがちり部分から、とび出ないように注意してください。

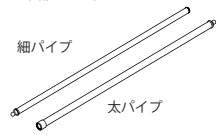
部品明細

下図に描かれた部品が揃っているかご確認ください。

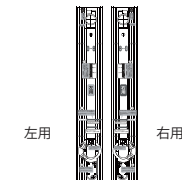
■アーム部...1組



■竿部...1組



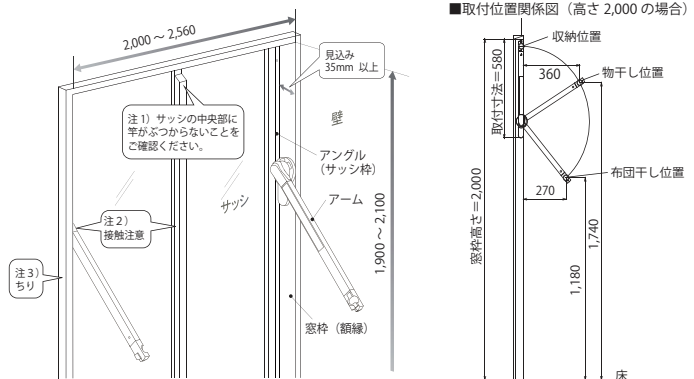
■位置決め用型紙...1組



■タッピンねじ...6本



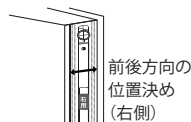
■取付位置関係図 (高さ2,000の場合)



室内物干し 施工要領

手順 1

位置決め用型紙を窓枠(額縁)にあて、前後方向の位置を確認し、任意の位置で点線を切り取ります。(右側の窓枠には右用の型紙を、左側の窓枠には左用の型紙をご使用ください。)

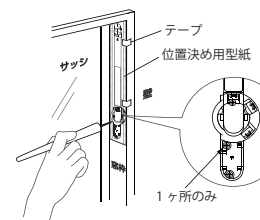


手順 2

型紙の上端を窓枠の上角部に合わせ、テープなどで仮止めします。

手順 3

図の1ヶ所(中央)をキリなどを使って印を付け、型紙を外します。次に、木の硬さに応じてΦ2.5～Φ3.0のドリルで窓枠に下穴を開けます。



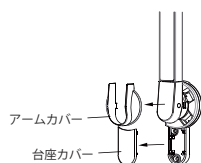
※下穴を開けない場合、木が割れることもあります。

注意

ロールスクリーンやブラインド等のある窓枠へ取付ける場合、取付け位置によっては接触する場合があります。施工の際には竿の動き等を確認の上、取付け位置を決めてください。

手順 4

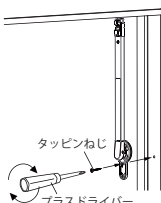
台座カバーとアームカバーを外してください。(台座カバーは裏側より4ヶ所のツメを押してください。アームカバーはスキマを利用して引張ってください。)



手順 5

窓枠の下穴に台座の中央の穴を合わせ、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。

※サッシ枠のアングル高さが6mm以上で、台座がアングルと干渉する場合、台座アダプターを台座の裏にはめてご使用ください。

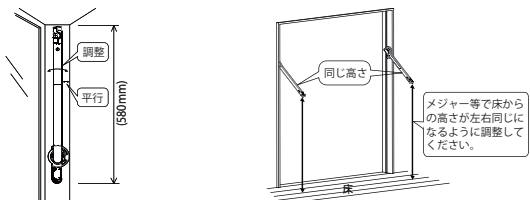


手順 6

反対側の窓枠も手順1～5の作業を同様に行います。

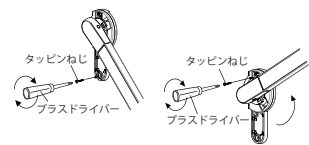
手順 7

次にアームの位置を調整します。まず、アームが窓枠と平行になるように調整し、さらにアームを手前に出したときに、左右のアームの高さが同じになるようにメジャー等を使って微調整します。



手順 8

台座の下側の穴からドリルで窓枠に下穴を開けてから、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。



手順 9

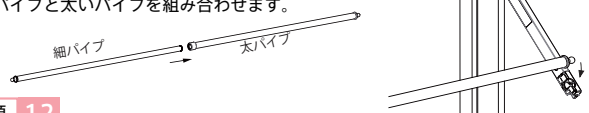
次にアームを物干しの位置に移動させます。続いて台座の上側の穴からドリルで窓枠に下穴を開けてから、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。最後に全てのねじが、しっかり止まっているか確認してください。しっかり止まっていないと破損の原因になります。

手順 10

手順4で外した台座カバーとアームカバーを取付けます。

手順 11

細いパイプと太いパイプを組み合わせます。



手順 12

アームの先端の穴に竿端部のボールを差し込みます。(ロックがかかり、外れないことを確認してください。) 反対側も同様に取り付けます。最後に取扱説明書に従って操作確認を行ってください。なお、異常のある場合は、ご使用にならないでください。